

アルファテック448LV

アルファテック448LVは、浸透性に優れた低粘度の超速硬化性エポキシ接着剤です。コンクリートのハツリで生じる微細なひび割れ、骨材の浮き、脆弱部などに浸透接着して、コンクリートを強化します。そのため、道路橋コンクリート床版補修時の基盤コンクリート補修、コンクリートの嵩上げ時の下地補修などに最適です。

特長

- 低粘度なので、乾燥面はもとより、濡れたコンクリートに対して、優れた浸透接着性能を発揮します。
- 揮発成分を含まない無溶剤型なので、安全に作業できます。
- 強度の発現がきわめて速いので、施工時間を大幅に短縮できます。

用途

- 道路橋コンクリート床版補修時の基盤コンクリート補修のプライマー
- コンクリートの微細なひび割れ、骨材の浮き、脆弱部などの浸透接着補修

テクニカルデータ

未硬化物の性状 (23℃)		
	アルファテック448LV	
	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂環式ポリアミン
外観色	淡黄色	淡黄色
外観 (混合)	淡黄色	
混合比 (重量)	100	45
粘度 (25℃)	200±30 mPa・s	
比重	1.15±0.05	
可使用時間 (300g スケール)	15 分	

硬化物の性状			
試験項目	試験方法	養生条件	物性値
圧縮強さ (N/mm ²)	JIS A 6024	23°C×7日	70
圧縮弾性率 (N/mm ²)	JIS K 7181	23°C×7日	1500
曲げ強さ (N/mm ²)	JIS K 7171	23°C×7日	40
引張強さ (N/mm ²)	JIS K 7161	23°C×7日	30
接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS A 6024	23°C×7日 (乾燥)	6 MF
		23°C×7日 (湿潤)	3 MF
引張せん断接着強さ (N/mm ²) (鋼材相互)	JIS K 6850	23°C×7日	15
衝撃強さ (N・mm/mm ²)	JIS K 7111	23°C×7日	2
硬 度 (HDD)	JIS K 7215	23°C×7日	80

※MF:セメントモルタル破壊

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

使用方法

- ①下地処理: コンクリートの脆弱部をハツリやウォータージェットで除去し清掃して下さい。
- ②樹脂混合: 主剤と硬化剤を容器に入れ、樹脂ミキサーで均一になるまで1分程度混合して下さい。
 - ・推奨樹脂ミキサー: HIKOKI変速ドリル(D10VH2/0~2600rpm)・ミキサーブレード(Φ80mm)。混合は500~1000rpmで使用して下さい。
 - ◇小分けする場合は主剤と硬化剤の混合比で使用して下さい。
 - ◇過度な攪拌による気泡混入に注意して下さい。
 - ◇樹脂の混合は温度が高いと短く、温度が低いと長くなります。
- ③接着剤塗布: 刷毛・ローラー・吹き付けなどで0.2kg/m²を目安に塗布して下さい。
ひび割れや脆弱部に吸い込みが有る場合は追い塗りして下さい。

容器形態

【10kg / 8.6L セット】

主 剤 6.9kg (角缶)
硬化剤 3.1kg (角缶)

【3kg / 2.6L セット】

主 剤 2.07kg (丸缶)
硬化剤 0.93kg (プラスチックボトル)

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願い致します。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行なって下さい。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜 本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550
URL:https://www.alpha-kogyo.com / E-mail:alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
神戸 事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282
6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN